

宇部市短期集中予防サービス（通所型C） 試行サービスの途中経過及び同行訪問の検証 について

短期集中予防サービス事業所の状況について

短期集中予防サービス利用者：30人（9月中旬～随時開始）

※1名開始直前で利用中止

事業所名	フィットネスデイ ミココ	リハビリポート canon藤山店	リハビリサービス プラスワン宇部店	介護老人保健施設 寿光園
所在地	上宇部142番地8	居能町三丁目2番 11-1号	常藤町5番25号	妻崎開作470番地3
所在地の圏域	中部	中部	南部	西部
提供地域	厚東川より東側	西部、中部、南部、 厚東、船木、川上 の一部	東部、中部、南部、 厚東と二俣瀬の 一部	市内全域
従事者の職種	理学療法士 作業療法士 看護職員	看護職員	理学療法士	作業療法士 言語聴覚士 管理栄養士
提供者の 要介護区分	事業 7人 支1 0人 支2 1人	事業 4人 支1 2人 支2 1人	事業 5人 支1 0人 支2 0人	事業 7人 支1 1人 支2 1人

同行訪問実施状況

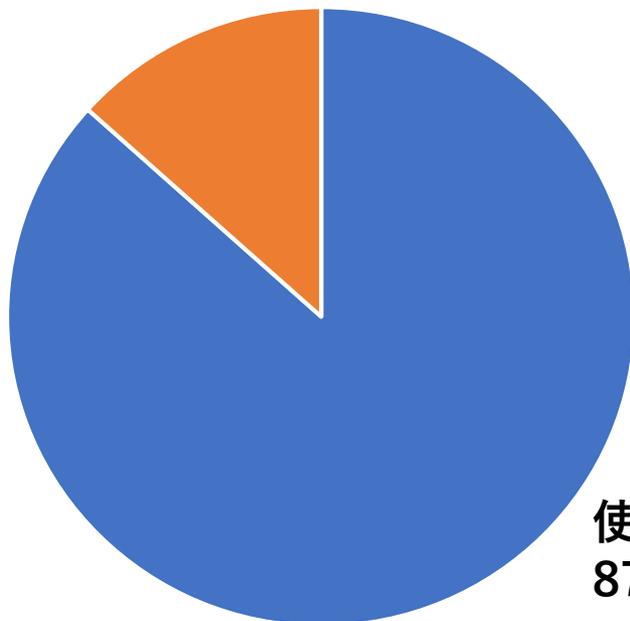
実施期間	令和6年8月19日～9月27日の1か月半
参加リハ職	11人 理学療法士 6人 作業療法士 5人
実施件数	33件
実施圏域	東部 3人 中部 4人 南部 15人 西部 6人 北部 5人
結果	短期集中予防サービスを利用 30人 同行訪問後、状態変化や本人の希望で 短期集中予防サービス利用なし 3人

同行訪問に関する アンケート結果

(地域包括支援センター 回答15名)

日程調整ツール及び情報の受け渡しについて

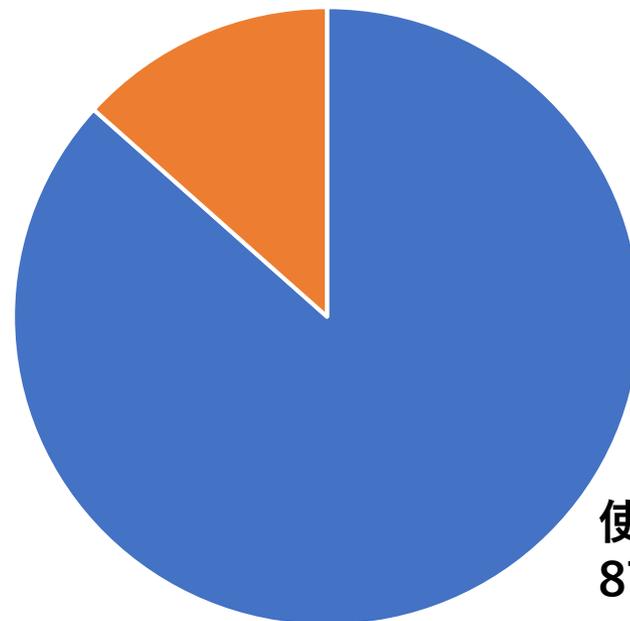
見直しが必要
13%



ログフォーム

同行訪問希望日の連絡

見直しが必要
13%



box

利用者情報の受け渡し

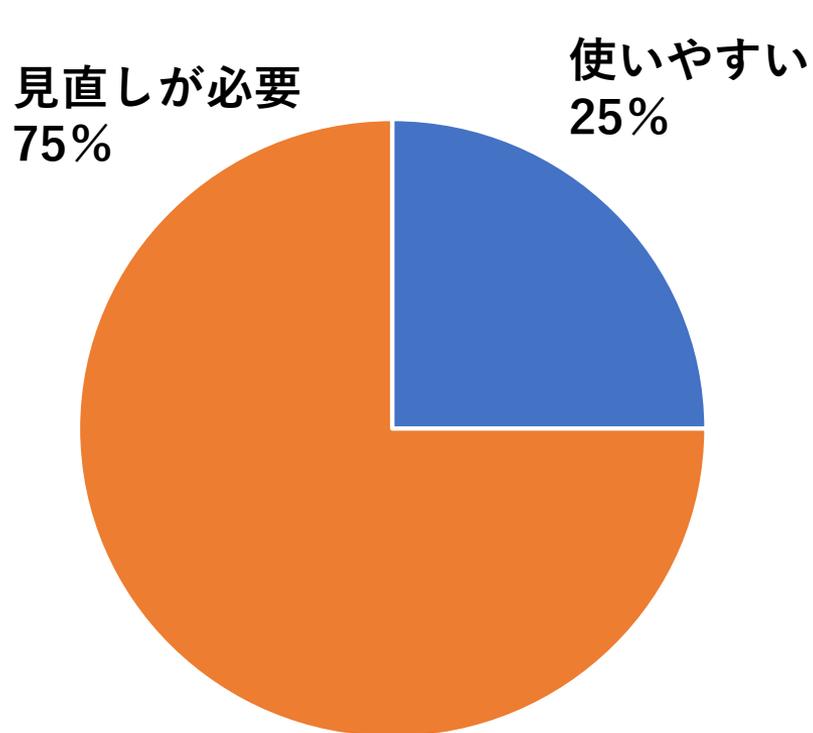
リハビリテーション専門職との訪問に関すること

- ・ 多角的な視点で利用者を捉えることができた
- ・ 意欲の引き出し方（声掛け）がとても参考になった
- ・ 聞き取りでは問題がなくても、その場で簡易な測定をすることで筋力低下傾向がわかる等、専門性を感じた
- ・ リハ職の的確なアドバイスにより、利用者も安心されていた
- ・ 身体面の詳細なアセスメントにより、より具体的なプランにつながった
- ・ 装具の使い方や自宅でできる運動をアドバイスされ、本人のやる気を引き出してもらった

同行訪問に関する アンケート結果

(リハビリテーション専門職 回答8名)

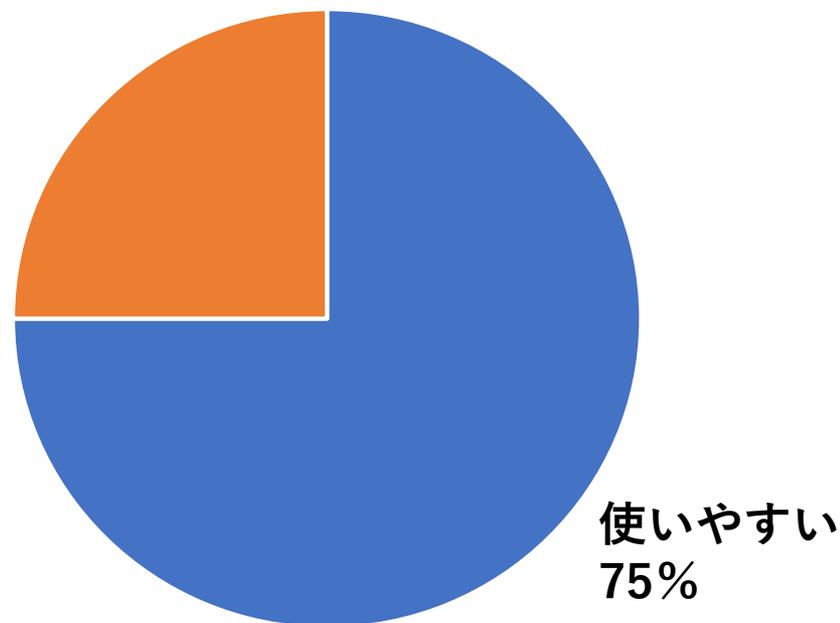
日程調整ツール及び情報の受け渡しについて



エクセルスケジュール

同行訪問可能日の連絡・訪問日の決定

見直しが必要
25%



box

利用者情報の受け渡し

エクセルスケジュールについて

- ・メール見落としのリスクがある
- ・訪問可能日しか選択できなかったため、△のような訪問できるかもしれない日も入力できるとよい
- ・スケジュール提出後から訪問日決定までに時間がかかるため、その間に調整が難しくなることがある
- ・訪問可能頻度も入力できるとよい。（可能日を提出するが、実際に全て決まると対応が難しい場合あり）
- ・予定が変更になった時に都度編集ができるようにしてほしい
- ・訪問メンバーの予定が一覧で確認できれば、個人間での交代をしてもよいか？

boxについて

- ・ 地域包括支援センターから提供される資料の形式（エクセル、ワード等）を統一してほしい
- ・ 資料がアップされた時に、通知が届くようにしてほしい
（地域包括支援センターからも同様の意見あり）

同行訪問報告書について

- ・ 今後のサービスに向けた助言に関して、3か月後に見込まれる状態とその目標が記載できるとよい
- ・ 「②利用者情報」と「④アセスメントと提案内容」のアセスメント欄についてが重複することが多いため、統合したフォームにしてはどうか。
- ・ 「④アセスメントと提案内容」の提案内容と「⑥今後のサービスに向けた助言」の内容が重複することが多いため、統合したフォームにしてはどうか。

同行訪問について

- ・ 1時間の中で進め方やアセスメントをしていくには、ある程度経験を重ねる必要性を感じた
- ・ 地域包括支援センターのサポートにより、円滑にアセスメントができた
- ・ 地域包括支援センター職員から情報補足等をタイムリーに行え、一緒に訪問するメリットを感じた
- ・ 訪問時に怪訝そうな表情で出迎えた方が、最終的に前向きになられる姿を拝見すると、この事業の効果を感じる
- ・ 個別での関わりにやりがいを感じる
- ・ C型事業所のサービス内容や職種等が事前に把握できておくとよいと感じた

その他、同行訪問について感じたこと

- ・リハビリ職としては、予防からこのような関わりができることは理想的であり、これからも継続していきたいと思った
- ・フレイル状態や認定されていないが要支援レベルの方の重度化防止、生活の質改善に必要な事業と感じた
- ・同行訪問リハ職、包括、C型事業所との打ち合わせがあってもよい
- ・同行訪問リハ職、包括と一緒に研修を受講する機会があるとよい
- ・同行訪問をしたリハ職メンバーですり合わせを行っていききたい

同行訪問試行実施のまとめ

- 包括、リハ職共に、短期集中予防サービスの前に行く同行訪問について意義を感じている
- 利用者の反応も良く、具体的なプランにもつながる
- 日程調整等の技術的改善が必要
- 同行訪問報告書の見直し
- 同行訪問関係者での研修等を実施



必要な点を改善し、本格実施においても同行訪問を実施していきたい